

刊夕 日七廿月七

常磐毎日新聞

定価 毎部五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭
 発行所 常磐毎日新聞社 東京市本町三丁目
 電話 六三〇〇
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社 東京市本町三丁目
 電話 六三〇〇

獨乙へ向ふ (三)

彫刻家本多朝忠氏令妹
 勢女出身 本多サノ

二月十一日 今日には紀元節甲板に二等客が集つて遙拜式がありました。軍人が澤山ゐるので莊嚴に君が機が唱はれ船長につれて萬歳を三唱記念撮影があり、外人船客を招待してシャン

ペンを上げ、夕食は赤飯に茶碗蒸鯛の鹽焼ナメコの酢物等おいしく頂きました。八時三十分より映畫があり午後三時頃イルカの飛ぶのを見た。シャンペン酒は一人宛六志八片との事小さいグラス一杯の酒、それが六

圓近いとは驚きました。二月十五日 波は静です朝のうち例によつて、二人連の四人組で、デッキゴルフをやる勝つたり敗けたりよい運動になります。事務の大川氏が夕食後デッキにダンスのレコードを持つて来てかけたので英人夫妻がおどりました。それが終ると其主人が見てゐた私におどつてくれと云ふので、ノーイー一点張りです。二人おるがこの人連はおどらないので又さきの奥様が別の外人男とおどりはじめました。大川氏もその御婦

人とおどりました。上手になると愉快だから習へとしきりに進められました。私には縁遠い世界の様に思われました。衆人監視の中で男女が抱き合つておどる様は見えてゐてキマリが悪いとです。二月十三日 焼き付く様な暑い中を土人は跳足で歩いて居る。正午コロンボ着釋加の寺のある。キャンデー行ののが例であります。七十里も自動車にゆられて行くわりにつまらないから市内を見物する様との出港前知人から注意があつたので強く進められたがキャンデー行を断る皆二等客はキャンデーに行つたので西谷氏と二人で市内見物すべく、ここから自動車に乗る。運

キャンは黒ノボの土人説明は英語、公園、博物館、お寺、動物園を見物、公園はカナを始め種々な花が見事です。名の知らない珍しい花がスク〜と伸ております。動物園は上野の様に種々おるが蛇は種類も多く大きいものにも驚く。土人の子供連と一緒に寫真をとる。光線が強いので好くとれたかどうか?。本船迄乗るランチ(小舟)がたつのに未だ時間がある

ので、デパートに入る夏帽子がないので一つ買はうと思つてその高いのに驚く、日本なら七、八圓位のが二十圓...よそうと思つたが西谷氏に進められて買ふ。六時本船に移る。夜十二時出帆亞典に向ふ。二月十四日 キャンデーに行つた連中が草臥てクタククになつて、コボシておるつまらない上に乞食せめにあつたと...

【朝】味噌汁 南瓜 小付 やきのり
 【晝】煮付 ます 福神漬 豚肉 馬鈴薯 葱 酢の物 ずゐき
 自動車が止ると子供がワツト集つてきて何かうたつて手を出して金をねだる。寫真一つとるスグ手を出す小金を持たない連中、ホト閉口したとのこと。

【晩】寄煮 豚肉 馬鈴薯 葱 酢の物 ずゐき
 自動車が止ると子供がワツト集つてきて何かうたつて手を出して金をねだる。寫真一つとるスグ手を出す小金を持たない連中、ホト閉口したとのこと。

開店記拾週年感謝大賣出し

10間

感謝 洋品部開店十週年を迎へまして、吾れら店主店員一同、御引立に對して今さら強く感謝の念にうたれる次第です。今度の賣出しは、全多年の御厚情に對する感謝の賣出しで、御座います。特價品は原價以下普通品でも正札の一割、三割、安に致しました。御買逃しのなき様、抜きでお願いする事に致しました。御買逃しのなき様、にぎわしく御来店の程お待ち申し上げます。大黒屋店主店員一同

海の用品特賣
 バランル均一特賣
 子供服家庭服特賣
 ワイシャツ特賣
 ネクタイ均一特賣
 パナマ帽子特賣
 贈答品特賣

- | | | | | | | | |
|-----------|-------|---------|---------|-------|-----------|------------|----|
| 座布圍カバ(大判) | 一七 | レリススカート | 五〇 | 本絹 | ネクタイ | 五〇 | |
| 本毛 | 子供腹巻 | 二〇 | バラリル二重張 | 一五 | 白キヤラコワイシヤ | 九〇 | |
| ガーゼ肌着 | 二重 | 二〇 | ボブリン | 小兒服 | 二五 | 靴下箱入(半打入) | 六五 |
| ボブリン | カツポリー | 四五 | リンネット | ワイシャツ | 五〇 | 本絹靴下(一足) | 五〇 |
| トブラル | コ家庭服 | 四五 | 編折給ワイシヤ | 用 | 四五 | タオル箱入(三本入) | 二二 |
| ポイル | ルスカート | 三五 | 長 | 袖 | 四五 | タオル敷布(上生地) | 四五 |

大黒屋洋品店

平町三丁目 電話 116

お新盆提灯に御注意!!!

近年各地に於て再製提灯が市場出る爲めお贈りの方も頂いた方も誠に迷惑され又失禮にもなりますので製造者の間で相談の上今年の品物へは必ず昭和十年製の赤色マークを入れてあります。御買求めの際は必ず御忘れなく昭和十年製マーク入と御指命下さい。昭和十年七月

提灯同業組合



磐城セメント會社特約店
 磐城平町五丁目 電話九番九九
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は生命なり

上田病院
 平町南町
 電話一二九番

木村醫院
 平町六丁目橋際
 電話三〇九番

盛夏は招く!
 深緑の山へ...
 紺碧の海へ...
 不二タクシー
 東京鐵道局公認
 電話三二番

坂井醫院
 平町田町
 電話五五九番

地下採掘

平町最後の態度

昨日町會で決定

二ヶ年間試掘願を保留 採掘は其上で考慮する

陳情を委員に附託

地下採掘に關する態度を決定すべき重大案件を前提とした平町會は昨日正午喫飯の爲め休憩後引續き午後一時半より再會、劈頭採掘に賛成の野崎議員起立

一、今回の委員は九州に赴いて調査を遂げたこと事であるが我々は先に市制調査の際資源開發の根源として特に九州を視察の目標とし同地に出張詳細に炭礦地を視察したに拘らず更に別な委員を繰り出させるが如きは先細に視察した我々の調査が粗漏であると認定した爲めであるが、然りとすれば再度の調査が杜撰であつた場合に、町當局は更に委員を選んで三度同地に出張せしめる意向を有して居るかどうかが、先に充分な調査を遂げて來たに拘らず更に新規の委員として九州に出張せる多田井議員は先同僚委員の調査を徒勞に終らしむるものであり同僚を侮辱せる結果となるとは考へないか

一、井上議長は他人に對し本員及び其他二三の議員が地下採掘に同意すべき默契の許に警炭より金銭を收受したので近く警察沙汰になると甚だ奇怪な言を放つた由であるが議長は果して左様な覺えがあるかどうか

と肉迫する、此時馬目(武)を見て更に九州へ飛び直方市、金田町、方城村、伊田町、後藤寺町、山田町、飯塚市、二瀬村、大牟田市、宇都部市、其他の炭礦所在地の礦業所や市町村役場を訪問被害地の現狀を目撃して被害者側も談も聞き一方帝國農會幹事長法學博士土田慶吉京都市大教授中村新太郎磐城女教諭山口彌一郎氏の諸氏に面接、官廳方面では商工省内地質調査所や各地の耕地課等を歴訪、また平田博士著の「礦害賠償責任論」澤村博士の「福岡縣下に於ける礦業に依る被害調査」

其他の文献を參考資料として研究調査を進めた結果二千尺の地下を掘進すると雖も大小の差こそあれ地表には影響が及ばず法律上の欠陥が賠償問題に達する場合は被害者側に不利多し地下採掘の都市はその運命を炭礦と共にしつゝある事等を結論とし殊に平町は舊城跡及び公園の西手に大斷層があつて地下の影響が悉く地層に悪結果を波及すべき旨を力説して居る、右に對し野崎議員は

貝島炭礦の地下充填は極めて行き届いて居る筈であるが是れを見たか報告書中の甚大な被害の列舉は地下何尺を掘り且つ

何層目にして生じたものか賠償方法は被害者のみの片側では解らない、地層の關係も九州と常磐とは是れを異にして居る筈だが此の點はどうかと頭から報告書を否認して追求益々急を告げる、吉田(寅)多田井兩委員交々起ち充填の方法は種々あるが炭礦の採掘は多く行はれて居ない、如何なる深度如何なる地層にしても採掘の悪影響あるは報告書通り間違ひない、賠償の關係は勿論各方面の事實を綜合せるものであり充分慎重調査した

と調査結果の確信を披瀝、此時委員中の一人佐藤議員が突如

中村博士は有利な條件を附して炭礦に採掘させる方が好いと云つたが何故其事を附言しない

と委員會の内情暴露を試みれば多田井委員其他躍々起るとなつて

「夫れは君の解釋違ひで、中村博士は採掘に甘んぜよと云つたのではない」と一笑に附す、小松、緑川兩議員も佐藤委員に助太刀的の質問を發し野崎氏も

「地表の被害中人蓋にはどんな被害を及ぼしたか委員間の意見は夫々相違し報告書も單に自説を有利に導く爲めに捏造した疑ひがある」と

と云ひ放つたので捏造とは何事だ取消せ取消せぬと波瀾を見せ此間終始沈黙の萩原議員起立

吾等は委員會の報告に依つて考察するに此際直ちに採掘に同意する一層固ら多しとの信念を一層固らたが折角鑛山監督局からも解決私案として三ヶ條を示されてあるのだから

その内の第三案を採つて二ヶ年間試掘だけを認め採掘は其後に於て考慮する事とし是れが陳情の爲め議長指名を以つて委員七名を擧げられた

と動議を提出したの對し野崎議員は

第三案には二年後に於いて採掘に同意する旨の附帯條件がある、此際採掘を二年延ばした處で何んになる

と動議に反對し川崎議員は第三案に對する解釋が種々に分れて居るが萩原氏の動議に依れば此点が重要であるから町當局は如何に解釋するか明答されたい

と質し町長が席を外した爲め酒井助役代つて

第三案は一磐城炭礦に現在許可しある試掘願を今後二ヶ年間保留することとである

と答へ川崎議員は「附帯する條件はないか」と駄目を押したに對し「ありません」と回答、次いで動議採決の方法に關して多少の紛糾あつた爲め一時休議に入り改めて井上議長は萩原氏外吉田(寅)馬目(武)氏提出の左記動議を満場採決する

鑛山監督局よりの内示されたる第三案の内左の一案を採ることを動議として提出す

一、今後二ヶ年間試掘として無條件として保留せられたること

一、是れが回答の爲め議長を含む七名の委員を擧げ鑛山監督局其他に陳情すること但し委員は議長の名に依る

野崎氏は

佐野秀之助博士或ひは鑛山監督局技師に地下採掘

の影響調査を依頼する動議を提出したが起立者は野崎氏外二三に過ぎず小數否決となり井上議長は萩原氏等提出動議の陳情委員として左記の七委員を指名し平町の消長に至大の影響を豫想され、頗る緊張した町會は午後五時半頃散會した

佐々木龍若 多田井笑次 郎 川崎文治 猪狩觀徳 萩原義雄 吉田五平 井上茂作

陳情委員

直ちに會合

別項平町會に於いて決定した地下採掘に關する陳情委員會は本日午後七時より町長宅に第一回の協議會を開き直ちに運動を開始し目的貫徹に努むる由

珠算競技

第一の優秀兒

平第一小學校では廿五日午後一時より同校講堂で各組選抜兒童によつて珠算競技會を催したが優秀兒童左の通りである

(第五)石川榮一 色川瑛

小野重信 二片英治 岡田孝平(第六)龜山正邦

岩崎宏治郎 小松崎富夫 小島弘文 小山田俊夫

(高一)松本友彌 佐藤滿夫 會川和三郎 加賀卯

一 鈴木武(高二)小谷磐夫 加藤浩平 佐藤啓三

郎 武藤金吉 大金一男

平町壯丁除隊

平町 田町

電話 一一四番

市原醫院

電話 一一四番

東京短期(本日)

新東 寄付 大引 高値 安値

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

新東 三三三 三三三 三三三

赤心を献げ

一票を行使

けい講演會席上

直ちに肅正聲明の決議

既報本廿七日午後一時より平第三小學校に開催された縣主催選舉肅正講演會は參集者多數にて眞に立錐の餘地なき盛況を示し青沼町長の開辭に次ぎ前警視總監丸山鶴吉氏及び伊藤本縣知事の「一票報國」に關する選舉淨化の講演あり感動した聴衆は席上直ちに左記の聲明書を萬雷の拍手を以つて可決した

正しき選舉は立憲政治の根幹にして社會の淨化總て源を茲に發す實に吾等の一票は皇運を扶翼し奉る忠君愛國の大道なる所以を自覺し來る九月二十五日執行せらるべき縣會議員總選舉に際しては斷じて黃白に迷はず情實に因はれずまた人をして斯の如き邪道に陥らしむることなく公明正大眞に清き正しき一票を行使し明るき憲政の實現を期し以て非常時日本の君國に奉ずる處あらんとす爰に赤心を捧げて左記各項の實行を期す

一、買収、囂應、利益、供與の如き不正行為は如何なる誘惑あるも絶対に應ぜざるは勿論人を誘惑するが如き行動は決して

辨當代

五十錢

肅正委員

肅正委員が此の暑さに暇無し活動は御苦勞とあつて一日辨當代五十錢の割で手當を支給することに本日午前十時から町會議事堂に開かれた町村長支會で決定した

平消防の生字引

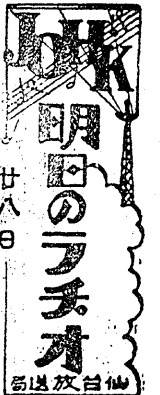
桶井氏小頭に

平消防組伍長桶井兼作氏は明治卅五年以來四十五年間勤続の組員として盡瘁し同組内外の事情に明るく生字

痴情の前科者

女房を迎へる事六人目

昨日警崎村の實父磯上收太郎方に潜伏中逮捕された情婦殺し犯人小松又郎(九)は引續き植田署に於いて取調中であるが同人は痴情の方面には仲々の強か者で既に女房を取り代へる事六人目及び現在の妻ハルは同人よりも七歳も年上の女であり前にも警崎村農家の人妻と通じ危く傷害事件を起しかつた事もある程だ以前は小金も持つて居たが女色の關係から赤貧となり無理情死を迫つた被害者吉田カツイ(七)に拒絶され遂に同



今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
ラジオスケッチ「夏休み第一頁」木馬童話劇研究會
後六、二五 農家の時間
「農業經營の上手下手」渡邊保治
後七、三〇 ピアノ獨奏
井上園子
後八、〇〇 小唄「起きてみつ」外堀小奈美 春日
引として貢獻した功に依り昨廿六日付で本縣警察部長より小頭に任命されたが尙消防手小野壽雄、山野邊陽の兩氏は伍長に昇格した

伊藤道海
前一〇、四〇 講演「日本の大使命」林龍太郎
前一、一〇 趣味講演「遠洋狩獵物語」池田敬之助
後〇、五〇 滿洲より「新京管絃樂器で描く」滿洲戲劇六題新劇院一座
◎輕音樂の午後◎
後一、二〇 吹奏樂 行進曲 舊友外大阪市音樂隊
後一、四〇 マンドリンとギター獨奏
後二、一〇 アコーディオン獨奏 柳子の川外數種
後二、三〇 野球試合實況 全國中等學校優勝野球宮

城縣豫選大會
後六、〇〇 子供の時間
子供音樂會 齊唱伸萌會
小學部ピアノ伴奏高須英子 二ハーモニカ獨奏淺田宜子
後七、三〇 日曜特輯ニュース演藝
後八、〇〇 長唄 賤の芋環富士松新藏外
◎國隨放送パッサン名曲
後八、二五 國內アナウンズ
後八、三〇 獨逸より 管絃樂
後九、〇一 日曜講談「安倍川の血煙」神田山

三萬匹が蠅取の第一位

蠅取の第一位

既報長橋町にはき新報社主催第三回蠅取デーは今廿七日より三日間を亘つて行はれるが初日正午現在の捕獲数は十萬匹で第一位は立町鈴木魚店の三萬匹であると

窃盜の一稼後

實兄の許に潜伏

平署員に逮捕されて身柄を富岡署に押送

小川村大字下小川字霧ヶ崎生れ高木龜治(四)は去る廿三日夜双葉郡木戸村大字上小花字中倉一請負業佐藤忠藏方に忍入り筆筒をコチあげ現金二百三十圓五十錢と煙草入れ一ヶを窃取して逃走し廿五日夜十時頃小川村の實兄高木安之助方に潜伏して居た處を平署員が逮捕本日身柄引取に出張した富岡署員に引渡された

平職業紹介所報告
回人を求める方
△出前持 十七才 尋卒
△注文取 二十三迄 尋卒
△月五圓
△商店員 二十才 尋卒
△給料面談
△製材工見習 十七迄 尋卒
△日給三十錢から

襲れる綴驛

國鐵最初の音のシグナル

内郷村綴驛附近は屢々濃霧に依る列車の立往生及び自動車事故が頻發するので水戸運輸事務所では國鐵最初の「音のシグナル」を綴驛構内に取付ける事となり去る廿五日より係員が出張一ヶ月の豫定でテストを行つてをるが同シグナルは電機サイレンが据付てあり通過安

石炭窃盜

百貫以上も

内郷村大字綴字堀坂一八坑夫玉之助妻小野キヨミ(四)は去月十日以來七回に亘つて磐炭綴坑より石炭百十五

回職を求むる方
△鐵工 十六才 高卒
△自轉車工 十七才 高一
△運轉工 三十六才 高卒
△酒店員 二十二才 中卒



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島在史

第百八十六回

空葛籠(三)

ウエルズが支那へ赴任してしまふと、もはや二度とふたゝび敵にめぐり合ふ機会を逸してしまふのだ。

では、仇討のねがひをすてずに敵と共に支那に渡り新しい舞臺で新しく身内にもえ物がつてくる熱情でウエルズを討たうか……

それは決して出来ない相談ではない。支那へ渡りウエルズのすきそうかがつてさへいれば、いくたびも仇討の機会があらう。

だがそれではたとへウエルズをたはすことが出来ても、自分の生きる道も同様

に失つてしまふだらう。ウエルズをたふして自分も死んでしまへばもちろん、萬一たすかつたとしても永遠に日本の土をふむことが出来なくなる。日本へ歸らなければ生きてゐたとしてそれは生ける屍にすぎない。

しかも、またたんに日本に歸らぬばかりか、あのうれしい人旗本上りの大志賀とは永久にあふことができない。

支那へ渡つて、生ける屍となるか仇うちを断念

して大志賀のふところへ飛込んでいかうか。

おとわはこの二途に迷はねばならなかつた。懊惱の二三日はわけもなく経つた。

刺さうとして機会をねらつたかしのない。だが、居留地英四番館二階の殺風景な牢獄のやうな一室に押込められて居つては、たうてえそれを異すことはできない。もはやそれをすら断念してゐる。死さうだ日本と永久に別れをつけて支那へいくぐらひなら死んだ方がまだだ。ウエルズが室を出ていくときは室の中に何一つ自殺に要するものを置いては



の支那へたつ日だ。パークスに追はれて支那へ轉任するのだがウエルズにはかつてその方が都合がよい。ニッポン・ムスメ、おとわをひとりじめできるからだ。これに反しておとわの悲しさを……

おとわはこの二三日のあひだにいくたびウエルズを

つた。あゝ、あの人にたつた一度でいい、あへたら……あたし支那へ死にいけるわ。ひとり大志賀の幻像にうつたへてさめどくと泣く。くるしく聲をのんで涙を眼一杯ためた。夕方ウエルズは歸つてきた。すべての出發準備ができた。きまつたのだらう。ゆつたりした態度だつた。

美味 貝焼

鯉しほから

新鯉節大賣出し

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五七七番

最も理想的な相互扶助機關

□共存共榮自力更生の大策□

中小商工業者の大福音

石城中小商工互融會生る

融資御希望の方へは 十銭の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します 僅か十銭の日積で満額拂戻の時には五分以上の割戻分配を致します

- 本會の事業
- 一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
 - 二、懇談會併精神修養講話會
 - 三、會員の吉凶慶弔
 - 四、人事百般の相談
 - 五、法律無料相談
 - 六、診療救恤の補助
 - 七、納税の代納事務取扱
 - 八、勤儉蓄積の奨励
 - 九、小資本の融通
 - 一〇、會員の特典
 - 一一、會報の發行
- ◆皆さん御利用を願ひます
- 相互扶助機關

石城中小商工互融會

福島縣平町播種小路一番地

新益用佛壇具卜位牌ハ

山光堂佛具店へ

平四丁目局前 造花博士 花信 電話五五〇番

祖先崇拜ハ家庭繁榮ノ礎!!!

新車御披露

素晴しい乗心地の!!! 三十五年式流線型新車が 参りまして

是非御試乗御利用の程、御願申します

三井タクシー 電話六八五番

頭痛で不快の方

二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)